第 63 回 豊田佐吉翁顕彰祭 顕彰のことば

私ども湖西市民が常に誇りとしております豊田佐吉翁のご命日を偲び、第 63 回顕彰祭を開催するにあたり、湖西市を代表し、慎んで顕彰のことばを申し上げます。

本日ご多忙のところご臨席を賜りました豊田章男様をはじめ、ご親族並びにご来賓の皆様方に、心より厚く御礼申し上げます。

佐吉翁生誕 100 年にあたる昭和 42 年に、豊田家の皆様をはじめ、多くの方々から温かいご寄付を賜り、豊田佐吉翁記念奨学金制度が設立されました。

「佐吉翁に続け」という思いのもと、これまでに 362 名が奨学生となり、現在までに 352 名が社会へ巣立ち、各分野において活躍されておりますことを、ここにご報告申し上げます。

世の中の役に立ちたいと、夢や志を持って学び、それぞれの分野で活躍されている奨学生の皆様の姿は、佐吉翁の「報恩創造」の精神が時代を超えて息づいている証であると確信しております。

また、「報恩創造」の精神は、現在の子どもたちにも受け継がれております。湖西少年少女発明クラブは、昭和 51 年、佐吉翁の精神を次代へ伝え、子どもたちに創る喜び、考える喜びを届けたいという地域の有志の皆様の強い熱意によって設立されました。

以来 50 年、歴代の指導者や関係者の皆様が情熱を注ぎ、モノづくりの楽しさと工夫する喜びを伝え、その豊かな創造力を育んでこられた長年のご尽力に対し、深く敬意を表します。

本年、50 周年という大きな節目を迎えるにあたり、記念事業の一つとして「モデルロケット製作・打上げ体験」が行われます。ロケット製作から打上げまでの過程を通じて、試行錯誤しながら一つのものを完成させる喜びや、モノづくりの楽しさを学ぶ機会となります。

発明クラブが地域とともに歩み、培ってきた 50 年の思いをロケットに乗せ、次の 100 年へ向けて、新たな夢や可能性に挑戦するきっかけとなる、50 周年の記念にふさわしい、素晴らしい試みであると、大変楽しみにしております。

こうした発明クラブの歩みは、モノづくりを通じて社会に貢献する姿勢を未来へつなぐも

のであり、本市の未来を担う子どもたちの成長を支える、かけがえのない活動であると深く感謝しております。

結びにあたり、佐吉翁が数々の発明の過程で幾多の困難を乗り越え、挑戦を続けられた歩みに改めて敬意を表します。

湖西市はこれからも、「報恩創造」を基本理念として、「モノづくりを通じて人づくり、人づくりを通じてまちづくり」を進め、誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちを築いてまいります。

佐吉翁から受け継いだ思いを大切にし、挑戦する心と創造する姿勢を次の世代へつないでいくことをお誓い申し上げ、顕彰のことばといたします。

令和 8 年 10 月 30 日
湖西市長　田内 浩之